



## インドネシア高校生 8 名受け入れ

12月16日(火)に、インドネシアのジャカルタにある Garuda Cendekia School から 8名の生徒が来校し、桜修館の3年生・5年生と交流しました。当日の流れは以下のとおりです。

10:30 インドネシアの生徒到着

10:35~11:25 (3時間目) 3年生バディによる学校紹介

：動画での学校紹介や、校舎案内をしました。(教室→体育棟→弓道場)

11:35~12:25 (4時間目) 5年生の英語授業に参加

：インドネシアの生徒たちは、5年生の論理表現の授業に参加しました。

12:25~13:00 3年生クラスで昼食交流

：国際系の所属する班に入って、桜修館生は給食を、インドネシアの生徒はお弁当を一緒に食べました。

13:00~13:25 国際ルームで昼休みに交流、お土産交換、写真撮影、お別れ

：おしゃべりをしたり、けん玉で遊んだりした後、お土産を交換して記念写真を撮りました。

## 感想

- ・インドネシアの方々が日本の学校生活にとっても興味を示してくれたことが印象に残りました。その一方で自分の日本文化に対する理解が浅いことに気づき、正しく日本について紹介するためにはまだまだ知識が必要だと気づくことができました。
- ・インドネシアの方々と交流して改めて国際交流の楽しさと大切さを学ぶことができました。他国の文化を知ることは友好的な関係において大事だと気づかされました。
- ・インドネシアの方々は明るくて親しみやすく、考え方や雰囲気の違いから新しい発見がたくさんあって印象に残りました。
- ・外国の方々との交流を重ねるにつれて、前よりもたくさん話すことができるようになりました。しかし、弓道について同時翻訳するなど、まだまだバディの相手に上手く伝えられなかった部分も多いので、これからも英語の勉強を頑張りたいと思いました。
- ・日本に興味を持ち、実際に訪れてきてくれていることが日本人の一人としてとてもうれしかったです。外国の方々と関わった経験は一生の財産になるだろうから、これからも大切にしていきたいです。
- ・3時間という非常に短い時間でしたが、お互いの文化を共有することができたと思います。完璧な英語を話さなくても知っている単語でどう伝えるか工夫したいです。
- ・インドネシアの方々は友好的な方が多く、言語の壁がありながらも楽しく、色々なことをおしゃべりできたのでよかったです。しかし、やはり英語でのコミュニケーションで、うまく伝えられなかった部分もあったので、もっと単語を勉強したり、それがすぐに出てくるよう反復練習をしたりなど、努力していきたいです。